

ビワ生育情報

千葉県
平成23年7月号

最近1年間の気象及びビワの生育状況

平成22年7月から平成23年6月までの月別の気象は表1に示した。月平均気温は平成23年1、3、5月を除く9か月で平年を上回った。この1年間の平均気温は16.4℃で平年より0.7℃高かった。

本年産のビワの生育状況を振り返ると、平成22年の梅雨明けは7月17日で平年より3日早かった。梅雨明け後から夏の間気温が平年より高く推移した。花房の着生率は平年より著しく高かった。花房の出蕾は「楠」では遅かったが、「大房」及び「田中」では早かった。関東に接近した台風は3個あったが、ビワ樹にはさしたる被害はなかった。冬の訪れは遅かったが、開花の進みは「楠」は早かったが、「大房」及び「田中」では遅かった。冬は寒さが厳しく(最低気温-3℃以下の日が6日)、寒害の被害は平年より多かった。3月の低温の影響で、果実の生育は平年より遅かった。しかし、4、5、6月は気温が平年並みか高く推移した。果実の肥大は進み、最終的には収穫期は平年に比べ2～3日遅れた程度であった。

表1 平成22年7月～平成23年6月の気象(館山測候所)

年	月	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
H22	7	26.7	24.5	24.0	206	163	126	225	179	126
	8	27.9	26.1	24.6	47	117	161	275	220	202
	9	24.6	23.1	21.5	268	216	87	198	146	161
	10	18.2	17.9	17.5	404	253	222	90	137	149
	11	13.6	13.2	13.0	163	125	233	142	144	119
	12	10.0	8.6	8.6	131	83	149	175	166	169
H23	1	5.0	6.2	6.6	1	79	34	220	169	149
	2	7.6	6.5	6.5	138	88	164	121	151	111
	3	8.4	9.1	9.0	60	162	211	212	154	130
	4	14.3	14.1	12.0	104	160	309	229	166	125
	5	18.0	18.1	17.1	228	149	119	166	177	201
	6	22.0	21.2	21.1	136	212	197	112	133	159
平均/計		16.4	15.7	15.1	1,886	1,807	2,012	1,965	1,782	1,791

平年：1968～2010年の平均

本年度産果実の特徴

1. 熟期

収穫期は表2に示した。暖地園芸研究所における収穫始期、盛期及び終期はそれぞれ、「楠」が5月31日、6月1日、8日、「大房」が6月8日、11日、15日、「田中」が6月14、19日、24日で、平年に比べ、「大房」及び「田中」では平年より遅かった。3月の天候不順から一転し、4、5、6月は天候に恵まれたため、果実の成熟が急速に進んだ。収穫期間はやや短かく、生理落果が見られた。

表2 収穫期(暖地園芸研究所)

品 種	収穫始期(月. 日)			収穫盛期(月. 日)			収穫終期(月. 日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	5.31	5.30	6.1	6.1	6.3	6.5	6.8	6.8	6.10
大 房	6.8	6.3	6.7	6.11	6.8	6.10	6.15	6.12	6.14
田 中	6.14	6.12	6.15	6.19	6.17	6.17	6.24	6.22	6.22

平年：1983～2010年の平均

2. 果実の大きさ及び収穫量

収穫果実の大きさは表3に示した。果重は「楠」が52g、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ87g、82gであった。「楠」は平年並みであり、「大房」及び「田中」は平年を9%程度上回った。

横径は「楠」が4.4cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ5.4cm、5.2cmであった。「楠」は平年を下回り、「大房」及び「田中」は平年を上回った。縦径は「楠」が

4. 6cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみると5.5cm、5.6cmであった。「楠」は平年をわずかに下回り、「大房」及び「田中」は平年を上回った。

果形指数は「楠」が0.96、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.98、0.93であった。「楠」及び「田中」は平年を上回り、「大房」は平年並であった。「楠」及び「田中」は平年よりやや丸みを帯びた果形であり、「大房」は平年並みの果形であった。

本年の着花房率は平年より著しく多かったが、寒害の被害が多かった。収穫量は「楠」は平年並みであったが、「大房」及び「田中」は平年よりやや多かった。

3. 糖度及び酸度

果実の糖度及び酸度は表3に示した。糖度は「楠」が12.5、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ9.7、9.5であった。3品種とも平年より低かった。

酸度は「楠」が0.19、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.15、0.25で、「楠」は平年よりわずかに高く、「大房」及び「田中」は平年よりも低かった。

4. 食味

果実硬度及び糖酸比は表3に示した。果実硬度は「楠」が0.51、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.63、0.61であった。「楠」は平年より軟らかく、「大房」及び「田中」は平年より硬かった。

糖酸比は「楠」が67、「大房」が74、「田中」が38であった。

「楠」は食味良好であったが、「大房」及び「田中」は糖が低く食味は平年に比べやや劣った。

5. 病害虫及び生理障害の発生

本年はカメムシのフェロモントラップ誘殺数が平年より少なく、産地でのカメムシの発生量は平年より少なかった。クワゴマダラヒトリの食害は平年並みであった。また、そばかす、裂果、紫斑、日焼け、たんそ病等の障害果の発生は平年並みであった。「大房」は角張った果実が平年よりやや多かった。

表3 果実の大きさ及び品質

品種	調査地	果重(g)		横径(cm)		縦径(cm)		果形指数		糖度(Brix)		酸度(g)		硬度(kg)		糖酸比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
楠	暖地園研	52	53	4.4	4.5	4.6	4.8	0.96	0.95	12.5	11.9	0.19	0.18	0.51	0.54	67	65
	青木	76	82	5.2	5.4	5.2	5.4	1.00	0.99	9.6	10.4	0.11	0.16	0.59	0.58	91	67
大房	南無谷	87	77	5.4	5.2	5.7	5.3	0.94	0.98	9.1	10.5	0.11	0.18	0.64	0.57	85	58
	暖地園研	96	80	5.6	5.3	5.7	5.4	0.99	0.97	10.3	11.1	0.23	0.20	0.67	0.59	45	56
	平均	87	79	5.4	5.3	5.5	5.4	0.98	0.98	9.7	10.6	0.15	0.18	0.63	0.58	74	60
田中	青木	84	74	5.2	5.0	5.4	5.4	0.96	0.93	10.0	11.1	0.23	0.27	0.60	0.57	44	41
	南無谷	77	72	5.1	5.0	5.6	5.5	0.91	0.90	8.1	10.1	0.27	0.32	0.62	0.58	30	32
	暖地園研	83	77	5.2	5.1	5.8	5.5	0.91	0.93	10.3	11.1	0.26	0.33	0.62	0.58	40	34
	平均	82	75	5.2	5.0	5.6	5.5	0.93	0.92	9.5	10.8	0.25	0.30	0.61	0.58	38	36

果形指数：横径/縦径 糖度：屈折糖度計の測定値 酸度：果汁100ml中の酸含量をリンゴ酸(g)に換算した値
 硬度：果実硬度計による測定値 糖酸比：糖度/酸度
 平均：3地区の平均、平年：1983～2010の平均(但し硬度は2000～2010の平均)

8月～10月の作業

8月下旬から9月いっぱいせん定及び施肥の適期となる。9月中旬頃には花芽の確認ができるようになる。10月に入ると花芽の発育が進み、花房の形を表し、10月上中旬には摘房・摘らいの作業が始まる。

せん定

8月下旬から9月中旬に行う。徒長枝あるいは混みすぎた枝を間引いて、日光を樹冠内部に入れる。また上方に徒長した枝は切りつめて、樹高を下げ低樹高化に努める。

施肥

9月に基肥を施用して花房の伸長、充実を図る。耕土の浅い園では10a当たり成分量で窒素12kg、リン酸9kg、加里9kgを施し、耕土の深い園ではそれぞれ11kg、9kg、7kgとやや少なめにする。

摘房・摘らい

摘房は発育不良の花房や混み合った花房を間引き、1樹の全枝の半数に花房を残す。

摘らいは花房基部から3段目までの小花梗の中から充実した2段を残して他をかき取る。開花期延長には、花房の長さが3～5cmの時に摘らいすることが最も有効である。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>